令和５年度　年間指導計画　２年　合田淳郎・和田祥子

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
９月 10月	２．行書に仮名を交えて書こう			
	行書と仮名の調和 （教科書 P40-41） ◎行書と仮名の調和を意識して書くことができる。［伝国(2)ア，(1)ア(ｱ)・ウ(ｱ)(ｲ)］	毛筆 ３	１「楷書とそれに調和する仮名」と「行書とそれに調和する仮名」に含まれる平仮名を比較して違いを見つけ，話し合う。 ２「学習の窓」を見て，行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確かめる。 ３「夕映えの空」の点線を鉛筆でなぞり，筆脈を確かめる。 ４ 行書と仮名の調和を意識して，毛筆で「夕映えの空」を書く。	【関】楷書に調和する仮名と比較し，行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 【知】行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。 【技】行書と仮名が調和するように，筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。
11月	**行書に調和する仮名** （教科書 P42-43） ◎行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。［伝国(2)ア，(1)ア(ｱ)・ウ(ｲ)］	毛筆 ３	１ 行書に調和する仮名の筆使いに慣れるために，教科書 P42 下段の運筆練習に取り組む。 ２「学習の窓」を見て，行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解する。 ３ 行書に調和する仮名の特徴を意識して，小筆で「いろは歌」を書く。	【関】行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 【知】行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解している。 【技】筆脈と筆圧の変化を意識し，点画の方向や形の変化，点画の連続に注意して「いろは歌」を書いている。

11月	**行書と仮名のまとめ** （教科書 P44-45） ◎これまでに学習したことを生かして，行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。［伝国(2)ア，(1)ア(ｱ)・ウ(ｱ)(ｲ)］	硬筆 ２	１「いろは歌」を鉛筆でなぞり，行書に調和する仮名の筆使いを確かめる。 ２ 行書の字形の整え方を確かめる。 ３ 行書と仮名の調和を意識し，これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴／文字の大きさと配列）と行書の字形の整え方に注意して，「平家物語」の抜粋を硬筆でなぞり，空欄に書き込む。	【関】行書とそれに調和する仮名について，これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。 【知】行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。 【知】行書の字形の整え方を理解している。 【技】行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴，文字の大きさと配列に注意し，行書と仮名を調和させながら文章を書いている。
12月	３．楷書か行書かを選択して書こう			
	楷書と行書の使い分け （教科書 P46-47） ◎目的や必要に応じて，楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解することができる。［伝国(2)イ，(1)ウ(ｱ)(ｲ)，Ａ(1)オ(2)イ］ 書き初め	硬・毛 ２	１ 教科書 P46①の場面では，それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているか，理由も合わせて話し合う。 ２「学習の窓」を見て，目的や必要に応じて楷書と行書を使い分ける必要があることを確かめる。 ３ 教科書 P47②のポスターの見出しに使いたい書体と筆記具を選び，理由も合わせて話し合う。 ４ 教科書 P47②のポスターの見出しとして，３で選んだ文字を書き込む。 **【学習活動の応用例】** ○ 教科書 P70-73「情報を発信する」などを参考に，目的や必要に応じて適切な書体を選択し，学校行事と関連するポスターなどを書く。	【関】提示された場面において，楷書と行書のどちらで書くのが適しているか，主体的に考えようとしている。 【知】目的や必要に応じて楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解している。 【技】楷書と行書，それぞれの特性を理解した上で，目的や必要に応じて適切な書体を選択し，書き分けている。
１月 ２月 ３月	**［コラム］季節のしおり２** （教科書 P48-49） ◎これまでに学習したことを生かして，楷書とそれに調和する仮名，行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。［伝国(2)ア・イ］ ○季節にまつわる詩歌や言葉など，伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。［伝国(1)ア(ｱ)・ウ(ｱ)(ｲ)］	硬筆 ２	１ 季節にまつわる詩歌や言葉を朗読して味わう。 ２ これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を意識して，楷書とそれに調和する仮名，行書とそれに調和する仮名で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。	【関】これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに，興味をもって取り組んでいる。 【知】これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を理解している。 【技】これまでに学習したことを生かして，楷書とそれに調和する仮名，行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。